

地域の方との交流



共幸講座！
始まるよ！



銭太鼓に飛び入り
参加したよ！



カラフルな作品
ができたよ！



模造紙に自由
に色を塗った
よ！

今まで地域の方との交流は ZOOM による参加になっていましたが、今年度からコロナ感染症が 5 類になった事で対面での交流が再開となりました。5 月 17 日（水）に寿福祉ひろばにて地域の皆さまとの交流の場である共幸講座「はじまりの会」が開催されました。コムハウス、ねくすと、ハートライン、地域の方を中心に 30 名程が参加され、自己紹介のあと、各施設の“売り”を発表し合い色々な質問が出て盛り上がりました。また広場の方たちによる銭太鼓も一緒に踊ったりと、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

福祉の文化祭の企画で行われる作品交流のために、手形やローラー、筆を使い、なかまたちと施設紹介の作品を作りました。みんなの笑顔の写真も貼り、楽しみながら作品を完成させました♪

10 月には寿公民館にて、共幸講座の企画で「しゃべり場（サイコロトーク）」が開催される予定です。今後も対面で出来る企画を通してなかまたちの事、私たちの活動を地域の方に知ってもらえる様に小さい輪を大きな輪にしていきたいです！

～この街に生きる～

「感謝」

「障がいがあっても住み慣れたこの街で、人として生き活きと暮らしていける地域にしたい」障がいのある人たちや、わが子の卒業後や将来を思う親たちの願いに、学校の先生や地域で共感して下さった方々のご協力を得て 1986 年に市民団体アルプス福祉会が結成しました。そして、翌年小さな共同作業所と生活寮が誕生しました。さらに多くの市民の方の協力（募金・ボランティア・コンサートなど）を得て、1998 年 7 月 1 日 社会福祉法人アルプス福祉会が設立されました。

今年 25 年を迎えたアルプス福祉会は、80 名程の方が通い、27 名の方がグループホームで暮らしています。年齢的には、放課後利用の 10 歳の養護学校へ通う子どもさんから、70 代の方までと、幅広い年齢の方々が居場所として利用して下さっています。また今年度から市の委託を受けて、障がいのある人の総合相談事業を受託しています。障がいのある方、そのご家族の方お困りの時は、アルプス福祉会にお問い合わせください。

市民の皆さんの共感とご協力でできたアルプス福祉会。この地域の大事な資源です。いつも応援ありがとうございます。これからも、どうぞよろしくお願い致します。

【片桐 政勝】